

令和7年度 全国学力・学習状況調査 まとめ

佐久市教育委員会

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

佐久市教育委員会

1 実施内容

- (1) 実施期日 令和7年4月17日(木)
- (2) 実施対象 市内小学校6年生全児童 及び 中学校3年生全生徒
- (3) 実施教科 小学校：国語 算数 理科 中学校：国語 数学 理科
- (4) 実施校・人数 小学校：14校 814名 中学校：7校 729名
- (5) 実施方法 「教科に関する調査」(中学校理科のみコンピューター回答)及び
「児童・生徒質問調査」、「学校質問調査」

2 「教科に関する調査」結果

(1) 平均正答率

※調査結果は学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。

- 小学校：国語は概ね全国平均。算数・理科は全国平均をやや下回る。
- 中学校：国語・理科は概ね全国平均。数学は全国平均を下回る。

(2) 各教科の状況 (①正答分布状況・無答率 ②領域や観点から ③その他)

【小学校】

国語	①	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ4年間、全国正答率と「ほぼ同じ」状況が続く。全国正答率を5ポイント以上下回る設問は2問のみであった。 ・無答率や0～4問正答の下位生の割合も全国より低い。
	②	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」領域の正答率のみ全国をやや下回る。 ・「読書が好き」「幼少期からの言語経験」の影響が考えられる。
算数	①	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ2年、全国をやや下回る結果となった。無答率や0～5問正答者率は全国とほぼ同じだが、12～16問の上位者は下回る。(他教科も同傾向)
	②	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ4年で、「知識・技能」の低下は2ポイント以下だが、「思考・判断・表現」の低下は8ポイント程で、「考える授業」か見直しが必要。 ・「変化と関係」領域は、ここ数年、児童が苦手とする傾向が見られる。
	③	<ul style="list-style-type: none"> ・選択式設問に比べ短答式・記述式設問の正答率が低い。
理科	①	<ul style="list-style-type: none"> ・3年前の「ほぼ同じ」から、今回「やや下回る」結果となった。
	②	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科に比べ各領域毎の正答率の差が開いている(7ポイント)。 ・3教科の中でも全国より高い正答率の設問が見られたのが理科であるが、一方で、最も低い設問も理科でバラツキがみられる。「理科好き」な児童は多いが、生きて働く知識へとつなげていく必要がある。

【中学校】

国語	①	<ul style="list-style-type: none"> ・4年前の全国を「下回る」が改善傾向にある。無答率は2倍に増加した。
	②	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」領域が例年、低い傾向がある。
	③	<ul style="list-style-type: none"> ・選択式・短答式に比べ記述式設問の正答率が低い。ノートに写すだけでなく、自分の考えを「書いてまとめる」ことが日常化しているか見直したい。
数学	①	<ul style="list-style-type: none"> ・全国、佐久市前年度より大きく下回った。 ・無答率の割合が年々増える傾向にある。わかる授業の実現が求められる。
	②	<ul style="list-style-type: none"> ・「数と式」領域が大きく落ち込む。「1から9までの数字の中から素数を全て選ぶ」といった基礎的な問題が全国に比べ著しく低かった。

		・小学校同様、多くの学校で「知識・技能」より「思考・判断・表現」が低い。「考える授業」へ転換し、より「深い学び」を実現したい。
	③	・設問形式別正答率の偏りは見られない。
理科	①	・無答率が他教科に比べて低く、全国並みの正答率である。
	②	・データなし（別形式検査のため）。領域による差に大きな違いはない。
	③	・小学校同様、高い正答率も低い正答率もありバラツキが大きい。「塩素の元素記号を記述する」といった基礎的な知識・技能の定着にも課題がある。小学校同様、「理科好き」の生徒が多い。学んできた知識や情報をより関連づけ概念化する授業につなげたい。

3 「児童・生徒質問調査」結果＜抜粋＞

(1) 「質問項目ごと」の結果

※「佐久市教育大綱」「佐久市教育基本計画」に示された佐久市の取組と関連の深い項目を示している。

※肯定的な回答「当てはまる・どちらかと言えば当てはまる」の割合							
番号	質問項目	小学校（小6）			中学校（中3）		
		佐久市		R7全国比	佐久市		R7全国比
		R7	R6比		R7	R6比	
<主体的・対話的で深い学び>							
31	自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか	63.2	-1.8	-5.4	69.1	-0.5	+6.1
32	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	79.0	-4.6	-1.3	80.2	-2.5	+2.5
33	各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	75.6	-5.3	-2.2	68.4	-5.8	-2.2
35	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか	85.0	-0.3	+0.1	86.9	-1.1	+2.2
<学習に関する意識>							
45	国語の勉強は好きですか	61.2	-6.3	+2.9	59.8	-6.1	+1.9
47	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか	93.2	-1.9	+2.8	89.9	-1.4	+1.6
53	算数・数学の勉強は好きですか	63.1	-0.5	+5.2	55.2	-8.9	+1.4
55	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか	91.8	-1.2	+0.2	82.1	+1.3	+6.9
61	理科の勉強は好きですか	83.1	-1.5	+3.0	74.3	-5.2	+10.5
63	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか	83.8		+3.9	68.9		+5.5
<国語・算数数学・理科の学習活動>							
46	国語の授業の内容はよく分かりますか	82.7	-6.0	-0.1	75.9	-8.5	-1.1
48	国語の授業で、先生はあなたの伝えてくれますか良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれますか	71.6		-6.6	75.0		+2.1
54	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	80.0	+0.3	+1.7	72.5	-8.1	+2.2
57	算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	82.1	+0.1	-0.2	78.9	-0.8	+2.7
67	理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか	93.5		+1.1	93.5		+7.7
68	理科の授業では、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想（仮説）を考えていますか	85.2	-0.4	-0.5	68.3	-9.8	-1.9
<ICTを活用した学習状況>							
29	タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか	71.9		-4.8	80.1		+3.5
30	わからないことがあった時、タブレットなどのICT機器を使ってすぐに調べることができますか	88.0	-4.7	-1.2			0.0
<総合・学級活動・道徳>							
40	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	76.7	+4.0	-5.6	79.7	-1.6	+0.2
<読書>							
24	読書は好きですか	75.6		+5.9	70.5		+8.9
<自己有用感等>							
5	自分には、よいところがあると思う	86.7	+4.2	-0.2	88.8	+3.7	+2.6
7	将来の夢や目標をもっていますか	82.3	-0.1	-0.8	66.2	-2.5	-1.3
12	学校に行くのは楽しいと思いますか	83.8	+1.3	-2.7	81.4	-2.2	-4.7
14	友達関係に満足していますか	92.3	+4.2	+0.6	91.0	+0.7	-0.4
15	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	95.0	+2.9	+2.0	93.0	+2.7	+1.4

<向社会性>							
8	人が困っている時は、進んで助けていますか	95.5	+1.4	+1.8	93.3	+2.0	+2.4
11	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.9	+0.4	+0.5	97.2	+1.8	+0.6
27	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	79.3	-5.9	-2.0	74.6	-5.6	-0.7
<主体的な学習の調整>							
16	分からないことや詳しく知りたいことがあった時、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	83.1	-0.2	+1.4	78.8	-3.8	+1.3

- ・ <主体的・対話的で深い学び> <主体的な学習の調整> は、小中学校ともに前年度数値より下がっている。教える視点から学ぶ視点への転換をますます進めていく必要がある。
- ・ 児童生徒の<学習に関する意識> は小中学校ともに全国平均を上回る。「探究的な学び」を通じて、ますます児童生徒の学びに向かう姿勢を支え、高めていきたい。
- ・ <自己有用感> や<向社会性> が年々高まっており今後も大切にしたい。一方で、学校がより児童生徒にとって楽しい場所となるよう、子どもを主語にした学校づくりを進めたい。

4 「学校質問調査」の結果<抜粋>

(1) 「質問項目ごと」の結果

※肯定的な回答「当てはまる・どちらかと言えば当てはまる」の割合							
番号	質問項目	小学校 (小6)			中学校 (中3)		
		佐久市			佐久市		
		R7	R6比	R7全国比	R7	R6比	R7全国比
<主体的・対話的で深い学び>							
25	児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	78.5	-21.5	-10.8	71.4	-14.3	-16.8
26	児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	71.4	-14.3	-9.0	57.1	-0.1	-25.7
27	児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかり伝えることができていると思いますか	78.6	-14.2	-10.6	85.7	-14.3	-5.1
<学習に関する意識>							
7	児童生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	85.7	/	-4.6	100.0	/	+13.5
8	児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	57.1	-28.6	-28.8	100.0	0.0	+8.0
<ICTを活用した学習状況>							
60	児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、タブレットをどの程度使用させていますか (週3回以上)	28.5	-35.7	-23.7	57.1	0.0	+4.8
62	児童生徒同士がやり取りする場面では、タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか (週3回以上)	28.5	-14.3	-17.8	42.9	0.0	-13.0
63	自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、ICT機器をどの程度使用させていますか (週3回以上)	14.3	-35.7	-36.7	14.3	0.0	-26.9
67	タブレットなどのICT機器を、希望する不登校児童生徒に対して授業配信していますか (週3回以上)	42.9	+0.1	+22.6	57.2	+14.3	+22.7
	タブレットなどのICT機器を、特別な支援を必要とする児童生徒の学習活動等の支援に利用していますか (週3回以上)	57.2	-7.1	+5.7	57.1	+14.2	+8.2
<総合・学級活動・道徳>							
36	総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	78.6	-21.4	-14.1	85.7	+28.5	-5.8
<校内連携>							
12	教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか。	85.7	-14.3	-2.8	100.0	+14.3	+22.0
<指導評価等>							
19	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか (オンラインでの参加を含む)	100.0	+14.3	+10.4	71.4	+14.3	-16.1
22	今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしてくる教職員が多いと思いますか	92.8	+7.1	+1.8	71.4	+14.2	-18.3
30	学習指導において、児童生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか	71.4	+14.3	-19.6	42.9	0.0	-13.7
33	習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	85.7	+7.2	-2.9	42.9	-28.5	-43.9
48	算数数学の授業において、学習上つまずいた児童生徒に対する対応を行っていましたか	92.9	/	-4.1	85.7	/	-10.1

- ・ 全国比や佐久市昨年比と大きな違いは、回答数の少なさもあるが、背景に「学年・学級経営」や「授業」の差異も考えられる。小学校の学級経営、中学校の授業改善は学力に大きく影響している。
- ・ 中学校で「総合的な学習の時間」が動き出した。「学ぶ視点への転換」につなげたい。

5 改善の方向

※各校の学力や教科指導の課題は異なるので、ここでは全国学力調査や昨年度末に実施した CRT の結果も踏まえ、市全体の改善の方向を記す。

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」は本市で目指す「自ら考え、主体的に判断し行動する力」を育む上で欠かせないが、昔ながらの授業も散見され道半ばである。「深い学び」「探究的な学び」の実現が急務である。深い教材研究（概念の意味理解）と子ども理解（レディネスや関心）を基にした深い学びを目指し、「自走する学び手」を育てたい。
- (2) 「探究的な学び」が各校で動き出している。学ぶ意欲は疑問を出発点に沸き上がるもので探究のサイクルを回し、自律的に学ぶには、導入で丁寧に動機づけする必要がある。単元や授業を貫く「問い(学習問題・学習課題)」の問い直しが急務である。また、インプットに加えアウトプット・フィードバックを意識した単元・授業づくりを目指したい。さらに中学校毎に始まっている改革を加速させ専門性を高め合う同僚性を磨きたい。
- (3) 正答数の多い上位生割合と正答数の少ない下位生や無答数の割合も課題となっている。児童生徒の授業に向かう高い意識を大切に受け止めつつも、分かったつもりでいる中間層や下位層の子どもたちへの習得定着を丁寧に見届けたい。また、小学校でも中学校でも積極的に「学び直し」の機会の設定を検討したい。
- (4) 各教科の改善に向けて
 - ① 国語：「話すこと・聞くこと」では、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにしたい。
 - ② 算数数学：「知識・技能」に比べ「思考力・判断力・表現力」に課題が見られる。「教える視点から学ぶ視点」への転換のもと、子どもの疑問・問いを出発点とし、理由・根拠の説明を大切にした「考える授業」を実現したい。また、思考力・判断力・表現力の総体である「書くこと」を授業終末で丁寧に位置付けたい。
 - ③ 理科：算数数学同様、基礎的な内容の定着に課題が見られた。子どもたちの意味理解の不十分さは、教師の概念の意味理解の弱さが根底にあると考えられる。ドリル（反復学習）では意味理解のつまずきは解消できない。豊かな教材研究による単元のねらいや中核的な概念の理解を進めたい。
- (5) ここ数年、ICT 導入で授業風景も変わってきた。全国学調の結果からも「端末の利活用率と学力の間には相関は見られない」が、主体的で対話的で深い学びに向かう中で ICT 機器の効果的な活用を押し進めたい。ICT 導入後消えてきた、子どもの疑問を出発点とした「問い」の設定や学びの足跡である「板書」など、授業の原点を再認識したい。
- (6) 特色ある教育課程の編成が市内で始まり、学校が動き出している。近隣の私立校とも連携したり、学習指導要領の理念を学び合ったりするなど、自走する学び手を育む研修を市教委も主導していく。